



模擬講義一覧

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	人間発達専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-4	住吉 チカ	「心理学とは？」 心理学を学ぶと「人のところがわかる」と考えている人も多いと思います。しかし、実際にはそのような学問ではありません。「人内面での情報処理」を、行動・観察・調査を通して推察してゆくことが、主な研究内容になります。本講義では、「認知心理学」を例として、現代の心理学の内容や研究アプローチについて紹介します。
		③	11:00 ～ 11:30	M棟	M-2	白石 昌子	「絵本の世界・子どもの世界」 子どものために優れた絵本が、たくさん作られてきました。「優れた絵本」と言われるには、それなりの理由があります。さまざまなジャンルの「優れた絵本」をとりあげながら、絵本とは何か、絵本の中に子どもがどのように表現されているか、絵本にみる子どもの心など、多面的に絵本とふれあう30分です。
		④	11:45 ～ 12:15	L棟	L-4	松崎 博文	「特殊教育から特別支援教育への転換」 平成19年4月から従来の7種の心身障害児を対象とした「特殊教育」から、通常学級に6.5%の確立で存在している可能性があると考えられ、いわゆる発達障害児をも含めて支援していく「特別支援教育」へと転換がなされた。そこで本講義では、その転換の意義や、大学で学ぶ授業内容、福島大学で開設している発達障害児の早期支援教室「つばさ教室」の取り組みの様子、さらには卒業生の進路や就職情報も紹介する。
		⑧	12:55 ～ 13:25	M棟	M-2	佐久間 康之	「英語リーディング及びリスニング学習における記憶の役割」 日本人高校生が英語を外国語として読んだり聴いたりする際の学習ポイントを記憶の役割も含め簡単に説明していく。
		⑪	14:25 ～ 14:55	M棟	M-1	阿内 春生	「義務教育って誰の責任？—先生の給料から考える教育の地方分権」 1990年代以降の地方分権改革によって学校にもその波が押し寄せました。そこでは国の将来を担う子ども達を育てる義務教育は誰が責任を持つべきか？を考える議論がなされたのです。小中学校の「先生の給料」を題材に、教育の「仕組み」を考えていきましょう。
		⑫	14:25 ～ 14:55	M棟	M-2	中村 洋介	「江戸時代に発生した大地震の調べ方」 現在は首都圏直下型地震や南海トラフ地震など、様々なタイプの地震の発生が想定されています。もちろん地震は地震計がなかった時代から頻繁に発生していて、当時の日本に被害を与えていました。そこで本講義では、江戸時代に起きた地震を例として当時の地震の震度、マグニチュード、被害などの推定方法などをお伝えします。
	文化探究専攻	②	11:00 ～ 11:30	M棟	M-1	中田 文憲	「次元のはざまの奇妙な図形たち」 雪の結晶やブロッコリの表面など、身の回りには線とも面ともつかない複雑な図形が溢れています。本講義では、このような複雑な図形(フラクタル図形)をいろいろ紹介し、それらが1次元と2次元の、あるいは2次元と3次元の中間的な性質を持っていることを説明します。
		⑤	11:45 ～ 12:15	M棟	M-1	衛藤 安治	「英語のはなし」 この季節ビールのはなしをしたいと思います。皆さんは未成年ですから紅茶のはなしにします。紅茶はご存じのように、物質名詞です。近頃の参考書では物質名詞は「決まった形をもたないので数えられない」と説明しています。ところが TWO TEAS. のような言い方も「ジーニアス」には載っています。さて、どうしてでしょうか？
		⑩	13:40 ～ 14:10	M棟	M-1	中村 恵子	「おいしさの科学」 料理のおいしさは何で決まるのでしょうか？味やにおい成分など化学的な物質だけでなく、舌触りや弾力性などの物理的な性質(テクスチャー)も複雑に絡み合っています。料理の見た目も大事ですし、お腹のすいている加減や、有名なシェフのお店かという食情報も重要です。「おいしさ」の不思議についてご紹介します。
		⑬	14:25 ～ 14:55	M棟	M-23	安田 俊広	「運動生理学から考える 君は何のスポーツにむいているのか？」 人にはそれぞれ得意な種目と苦手な種目があります。短距離走が得意な人と長距離走が得意な人とはいったい何が違うのでしょうか？この授業では骨格筋に焦点を当てて、運動生理学という分野からあなたがどんな運動種目に向いているのか考えてみましょう。
	スポーツ・芸術創造専攻	⑥	11:45 ～ 12:15	音楽棟 3階	合奏室	金谷 昌治	「ヴァイオリンを弾こう」 私は「合奏」の授業を担当しています。合奏とは様々な楽器を用いて大人数で同時に演奏することです。そこには一人では味わえない大きな音のうねりがあり、豊かな響きや美しい音を探しながら、音楽的な深い喜びを感じることができます。大学の授業では、まずヴァイオリンの奏法を学ぶことから始め、器楽の表現について知識を深めながら合奏の実習へと進んでいきますが、今日はまず、「ヴァイオリンを弾こう」。
		⑦	12:55 ～ 13:25	M棟	M-1	天形 健	「美術を学ぶ楽しさ」 “線”は、人が描くもっとも単純な形です。その線が、円や方形として閉じられた形を取る時、無限の表現力を得ます。平面に描かれる“線”が立体図形に見えたり、陰影を表したりする描画体験をします。私たちの空間を認識する能力を再確認しながら、線による表現を楽しんでみましょう。
		⑨	13:40 ～ 14:10	L棟	L-4	白石 豊	「夢をかなえるコツ」 私はこの25年の間、日本のトップアスリートたちにメンタルトレーニングの指導をし、彼らが夢をかなえるお手伝いをしてきました。今回の講義では、そんな経験を踏まえて、高校生にもできる“夢をかなえるコツ”をお伝えします。きっと部活や勉強にすぐに生かされるとヒントが見つかると思います。

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		時 間	講義テーマ・概要
				建物	教室		
行政政策学類	法学専攻	①	10:15 ～ 10:45	M棟	M-21	阪本 尚文	「統治機構入門」 本講義では、我が国の憲法秩序全体が想定する統治機構の姿のエッセンスを紹介します。「日本国憲法は議院内閣制を採用しているがゆえに、首相は指導力を発揮できない。それゆえ、首相公選制・大統領制を導入すべきである」という主張がいかに奇妙なものかをご理解していただければ、本講義の目的は達せられたことになります。
	地域と行政専攻	②	10:15 ～ 10:45	M棟	M-22	佐々木 康文	「東日本大震災と情報社会」 災害時にメディアや情報が重要であるということは今も昔も変わらない事実であるが、東日本大震災は、情報社会と呼ばれる状況下で発生した大災害であった。東日本大震災において、発達したメディアとそれによる情報流通が引き起こした現象について講義する。
	社会と文化専攻	③	13:40 ～ 14:10	M棟	M-21	徳竹 剛	「地域史—鉄道開通と会津—」 19世紀後半以降、日本では近代化が推し進められ、地域の姿は大きく変わっていきました。とりわけ鉄道は、交通や流通を拡大するものであり、多くの地域がその敷設を待ち望んでいました。講義では磐越西線の開通時の様子を紹介し、近代日本における鉄道と地域社会について考察します。
経済経営学類	企業経営専攻	④	14:25 ～ 14:55	L棟	L-2	中村 陽人	「風評被害と戦うためのマーケティング戦略」 マーケティングは「企業のコネクションのテクニック」と捉えられがちですが、考え方や枠組みは広く適用することが可能です。この講義では、消費者の意識行動調査の結果をもとに、震災と原発事故で大きな被害を受けた福島県の農業の立場からマーケティング戦略を考えていきます。
		①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-2	貴田岡 信	「会計情報は企業のカルテである」 企業活動の結果は会計という方法で記述され、企業の外部の人も内部の人も会計情報を通してその企業の状態や活力を判断します。この意味で、会計情報は企業のカルテといえることができます。会計をこれから学ぶかたを対象に、会計情報の役立ちについて簡単に話します。
	経済分析専攻	②	11:00 ～ 11:30	M棟	M-24	井上 健	「統計的な意思決定とは」 少し前に比べると統計学という言葉が耳にする機会が増えたかもしれません。時には万能と聞こえるような表現も見られますが、実際にはどうなのでしょう。私たちの日常、仕事の現場など様々な側面で役に立つ場合が多いのも事実です。一方で使い方を間違えると大失敗も。いくつかの事例をお話したいと思います。
	国際地域経済専攻	③	13:40 ～ 14:10	M棟	M-24	菊池 智裕	「「遠くの出来事」と「私たちの現在」——近現代ヨーロッパ経済史から考える日本の日常」 ヨーロッパの出来事は、ニュースでも小説・映画・漫画でも身近ですが、現在を生きる私たちとはどこが「遠い」出来事です。しかし実は、歴史においても現代においても、関連性や共通性がみられます。この模擬講義では、経済史・現代経済から事例を取り上げて、ヨーロッパの理解と共に私たちの現在の理解も深めたいと思います。
共生システム理工学類	人間支援システム専攻	②	11:00 ～ 11:30	M棟	M-3	田中 明	「生体計測入門 ～心拍数の計測と解析～」 心拍数や血圧などの生理指標は、本人が意識しなくても常に適切に調節されており、その変化を見ることで生体の様々な状態を推定することが可能です。本講義では心拍数の変化を題材として、その計測および解析の方法とその結果わかることについて紹介します。また、様々な生体計測方法の実演も行います。
		③	11:45 ～ 12:15	L棟	L-3	神長 裕明	「人間とコンピュータ、賢いのはどっち？」 将棋のトップ棋士がコンピュータに初めて敗れたというニュースが流れました。コンピュータは人間を越えたのか。人間とコンピュータの違いやそれぞれの得意分野、コンピュータはどのように考えるのかなどを通して、どちらが賢いのか、考えてみましょう。
	産業システム工学専攻	④	11:45 ～ 12:15	M棟	M-3	笠井 博則	「「基礎数学」再現講義：微分の公式の導出」 高校の復習と大学の基礎科目の接続のために、大学1年前期に開講されている「基礎数学」の一部を再現します。本来の数学は何かを仮定して結論を導くものです。基本的な考え方から公式が導出される過程を紹介します。(本講義は高校の指導要領によっていません。講義の雰囲気を見て頂ければ幸いです。)
		⑤	13:40 ～ 14:10	L棟	L-3	浅田 隆志	「再生可能エネルギーと木質バイオマスの炭素」 福島原子力発電所の事故や地球温暖化等の問題を背景として再生可能エネルギーへの期待がますます大きくなっています。本講義では、再生可能エネルギーについて解説するとともに、特にバイオマスのエネルギー利用の中でも木質バイオマスの炭素化について紹介します。
	環境システムマネジメント専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-3	長橋 良隆	「猪苗代湖の底にあるバーコードのような地層の謎解き」 地質者の私が見たことのない、どのようにできたのか解釈できない地層、そんな地層が猪苗代湖の底にあります。この地層の謎を解くには、地質学だけでなく、化学あるいは数学の手法が必要かもしれません。分りたいから面白くなる、そんなお話です。
		⑥	13:40 ～ 14:10	M棟	M-3	後藤 忍	「環境メディアのリテラシー ～原子力教育・広報の捉え方～」 環境問題についての私たちの認識は、メディアによる影響を受けています。福島第一原発の事故後は、特にそのようなメディアを読み解くリテラシーが求められています。この講義では、具体的なメディアを分析しながら、リテラシーの基本を解説します。